

次月活動予定

8月

- 1日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
- 2日 男性施設海水浴 榛名女子学園プログラム
- 4日 岡本台病院プログラム 再乱用防止教育事業精神保健福祉センター
榛名女子学園薬物依存離脱指導
- 5日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 6日 家族教室 再乱用防止教育事業県央
- 8日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
- 10日 宇都宮保護観察所プログラム 東京保護観察所プログラム
- 12日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 16日 再乱用防止教育事業県南 榛名女子学園プログラム
- 17日 栃木 DARC・岡本台病院連絡会 岡本台病院プログラム
- 18日 再乱用防止教育事業県庁
- 19日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 更生保護施設プログラム
- 22日 東京保護観察所プログラム
- 25日 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター 榛名女子学園薬物依存離脱指導
- 26日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導
- 28日 家族会
- 29日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導 保護観察所プログラム
- 30日 榛名女子学園プログラム 血液検査
- 31日 宇都宮保護観察所プログラム

9月

- 1日 岡本台病院プログラム
- 2日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 JRCNA
- 3日 日光ボランティア・市民活動フェスタ JRCNA
- 4日 JRCNA
- 5日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導
- 8日 宇都宮保護観察所プログラム 再乱用防止教育事業栃木県精神保健福祉センター
- 9日 医師看護研修会 家族ケア講座
- 10日 家族ケア講座
- 12日 黒羽刑務所薬物依存離脱指導 ガイドポスト
- 14日 東京保護観察所プログラム
- 15日 再乱用防止教育事業県庁
- 16日 喜連川社会復帰促進センター薬物依存離脱指導 更生保護施設プログラム
- 20日 宇都宮保護観察所プログラム 再乱用防止教育事業県南

発行所

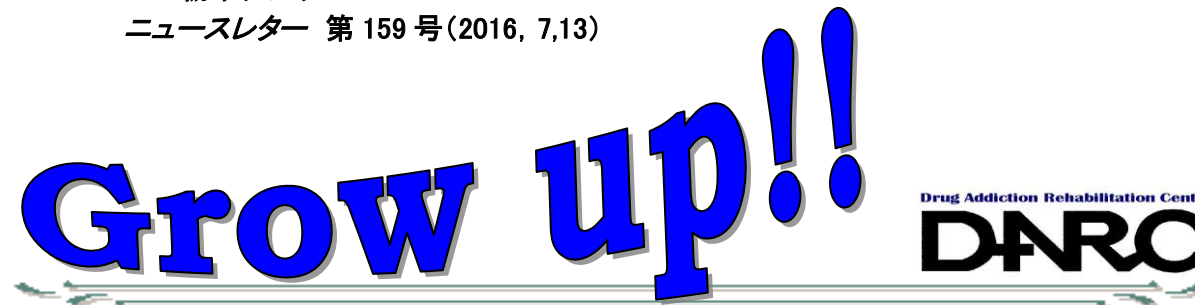
郵便番号一五七〇〇七三 東京都世田谷区砧六二六二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価100円

SSKO

栃木ダルク

ニュースレター 第159号(2016, 7,13)



回復と回復支援

特定非営利活動法人 栃木 DARC
代表理事 栗坪千明

ここ数年ダルクのあり方ということを経験してきました。規模、地域、有志など様々なカテゴリーで責任者が集まり話し合う機会も増えてきました。ひとくちにダルクと言っても経営主体、プログラム、連携機関もそれぞれだということがわかりました。ではダルクたる所以とはいったい何かということになりますが、ひとくちに言えばやり方はどうあれ依存症の回復支援です。

では回復とは何かということですが、単に薬が止まれば全てが上手くいくと考えがちですが、そうではないということです。大方のメンバーがまずダルクに来ればその時点では薬は止まります。それで終わりというわけではなく、そこからスタートし、止め続けるために何が必要なのかを探っていく作業が必要になります。ゴールはその先にある社会の有用な一員になるということです。そのためには回復の継続が必要になります。つまり完治ではなく、回復し続けるということになるわけです。回復し続けるのは一人ではなかなかうまくいきません。コミュニティが必要になります。ダルクの目標の一つに自助グループにつなぐというものがあるのはそのためです。自助グループに行く目的は様々な側面があります。一つ目は日々のストレスを吐き出すこと、依存者はストレスの解消が上手くできない人が多く、その場を持っているというのは大事なことです。二つ目は新しいメンバーを迎えてサポートしていくことで、自分の回復と自分が人の役に立っているということを実感できるということ。三つ目は共通の問題について話し合うことによって、自分だけ特別ではないと自覚すること、共通の敵と戦える仲間がいると実感するということです。

次に社会の有用な一員、つまり社会人になるということですが、なかなか難しい問題です。ダルクに来る前の就労経験が乏しいため、プログラムを修了し、いざ就労というときに自分が得意なものは何か、どんな仕事なら長く続けられるのかという想像ができていくということ。ダルクにいる間に2~3ヶ月仕事が続く、大丈夫かなと思って社会に出てみると、現実がのしかかる。経済的な問題やプライベートとのバランス、健康問題など、当たり前のことですが沢山あります。それを乗り越えられるのは仕事へのモチベーションだと思います。人の役に立っているという実感があるか、またやりがいのある内容かなど。つまり職業適性ではないかだと思います。今、栃木 DARC でもハローワークや少年鑑別所などで適性を見てもらう試みや職業の幅を広げるため、協力していただける雇用主さんの発掘などを行っています。より良い回復支援ができるよう模索中です。

ダルク自体も単体では継続支援はできません。様々な関係機関との連携をより広く、より深くしていくことが大事なことです。

編集 特定非営利活動法人栃木DARC

〒320-0014

栃木県宇都宮市大曾 2-2-14 形松ビル 3F

TEL 028-650-5582 FAX 650-5597

URL <http://www.t-darc.com> Eメール: nesm@t-darc.com

コミュニティーファーム

CF職員 高田秀夫

梅雨もそろそろ終わり暑い夏がやってきますが皆様におかれましてはいかがお過ごしですか。

コミュニティーファームでは、現在13名の仲間達と共に生活を送っています。他の男性施設とは違いメインプログラムは農作業を主に行っていて、現在はお世話になっている星農園さんのお手伝い「茄子の収穫、誘引、剪定、ぶどう園の手入れ、その他草刈り」など行っています。

又DARCでは「茄子の栽培をメインに行い、トマト栽培、スイカ栽培、ジャガイモ栽培、お寺の整備、地域ボランティアの草刈り」など幅広く行っています。

5月に定植をした茄子も順調に育っていて、収穫、選果、出荷、剪定、消毒と、毎日忙しく皆で協力をしてこなしています。

そんな中、DARC 修了生も力を貸してくれ、今までに身につけた技術等を、新しく来た仲間に対し作業手順、茄子の剪定やその他の流れについて、マンツーマンで指導してくれたり、助言、アドバイスなどもしてくれるので助かっています。

毎年この時期に欠かせないのが草刈りです。放ったらかしにしておくことは出来ず、定期的に草刈りをしなければならない状態で、面積も広く他の作業をしながらの草刈りは中々大変です。

炎天下での作業なので熱中症に気をつけ水分補給をまめに取り行っています。今年も6月から10月頃までの農繁期には、那須の1sc、宇都宮の3scから作業の手伝いに駆けつけてもらっているのととても助かっています。木曜日の午後を使ってどうにかT-DARPPなども行えている状態です。

高齢のため農作業についていけない仲間や、テキストを使ったプログラムをもっと取り入れてほしいと言う仲間もいる為、この先何か考えてより良い回復を皆が出来るよう模索していこうと思っています。しかし現状では中々そうもいかず、毎日の忙しさに流されてしまっているような感じています。

毎年7月と10月には、南那須保護区保護司会の皆さんとの交流会が予定されています。

7月12日に開催される交流会では参加者総勢50名以上となり、ジャガイモの収穫、流しそうめん等予定されています。P1090336.JPG

その他にも、小川町健康福祉祭りや烏山市健康福祉祭りに参加させて頂く事になっています。その時にも右側に保護司会の皆さんのテントがあり、左側に更生保護女性会の皆さんのテントがあり、間に僕達のテントがあり野菜の販売などをさせて頂いています。

又僕たちが作業の場としている畑に仮設トイレを寄付、設置までして頂きました。

南那須地区更生保護女性会の皆様にも大変お世話になっており、栃木DARC男性施設合同で毎年行う田植え際、収穫際、暮れの餅つき等のお手伝いに来て頂いたり、本当に支援ご指導をして頂き心強く感じていますし、感謝の気持ちです。

今後も出来る限り地域社会に根づいた活動や、より充実した回復の場の提供に力を入れていきたいと思っております。



那珂川 CF ハウスでの農作業の風景です。



3rd StageCenter

ヤング街頭キャンペーン



つまず 躓きながら

依存症のソウ

7月の鬱陶しい入梅の季節に入り、皆様の体調は如何なされていますか？栃木 DARC に入寮し、初めてペンを取らせていただきました。人生 60 年生きてきて色々な事がありました。それは、誰もが違う道を辿ってきた道かもしれません。昭和 30 年に産声をあげ、大切に両親から目の中に入れても痛くない程に可愛がられ、私を育ててくれたことに感謝しなければならない人生であり、生涯の第一歩ひとの生命です。両親としては、この子はどんな人生、どんな大人になるのかと愛情を込めて成長させてくれたに違いありません。まだ生まれたばかりでそんな事は思い、考えさえも持つ心に抱く存在などはありません。当然、物心もつかない赤ん坊です。そして日に日に年月を数え、保育園から小学校に入り、ランドセルを背負う年頃の子どもへと成長させてくれました。

あれは小学校 1 年生だったのでしょうか。遠足をする秋の日、みんな同級生の母親達は来たのに、なんで僕のうちは来ないのだろうと子供ながら、すごく悲しく不安を覚え始めている時にやっと母が来てくれました。嬉しさのあまり抱きついて、無邪気に大泣きしたことをいまだに時折思い出します。話は飛び越えるのですが中学校を卒業して、いとこの経営する渋谷の中華料理店へと就職し、働き始めて 22 歳にして結婚をして、2 人の子供に恵まれ、栃木県に里帰りして子供たちを連れて来た時は、両親、特に母は我が子をすごく可愛がっていました。そんな人並みの生活を送っていた毎日でしたが、私の飲酒の量が増し、罪を犯してしまい、それが離婚の原因となって家族の糸が切れて、絆が消滅してしまい、今までの幸せが嘘のように深く心を閉ざされて明日を見る自分の姿さえ置くことが辛く切なかったです。しかし辛いのは暗闇につつまれた妻と子供たちの将来の事ことを考えると心配でならず、胸に痛手が申し掛かりました。

再度、母の話をします。18 年前、私が朝 6 時頃から焼酎を飲み、その日の 10 時頃、某用品店に買物をした帰りに駐車場で他の車と接触事故を起こして逃走してしまい、さらに路上駐車している車に衝突して、車が大破しました。それにより警察に逮捕されました。母が心配で警察署に私の身柄と被害者の事を聞きに行った帰り道、色々考え事をしていたのだと思います。小さな交差点でラジオ操作に気を取られ赤信号を無視した大型トラックに撥ねられて亡くなるという痛ましい事故となってしまい、何もかも終えてしまいました。もし私が酒帯運転さえしなければ母は死に至らなかったでしょう。そしてまだ現在も母の生命は存在していたかもしれません。あの事故の日から今現在まで、私の心の中の悲しくて辛い、忘れることのできない出来事で、本当に取り返しのつかない思惑が、この身に留まっています。謝っても謝りきれません。

16 歳からお酒を飲み始め、年齢を重ねるごとに飲む量が増し、53 歳頃からだと思いますが、知らず知らずに、自らがアルコール依存症になるなんて思いもしなかったです。依存症の爪後は実に怖さ、恐ろしさ、切なさをつくづく痛ましく身にしみて強く心に痛感させられたのです。犯罪、愛想をつかれ 2 度目の離婚、母の死去、社会に世間に重大な迷惑をかける事に自分に嘆き訴える様々な不快を残念もので良くない体験をしてしまいました。本当に無念で弱い自分が見えてきましたが、それに負けまいと自分に克とうと、今こそ切り替えが必要だと考え、強く前に進もうと実感しています。

網走刑務所を 3 月 30 日に出所し、自宅に居られず、家を引き払い、何処にも身を置けないときに知り合いの紹介で栃木 DARC の卒業生から入寮を勧められ、現在、親切に指導を受けながら、入寮 3 ヶ月目を迎えることになりました。正直、大丈夫かなあと心配しましたが、仲間の皆様が良い方ばかりで、この道を選択して人生最後の更生の場所で自力更生を目指し一生懸命がんばっています。

消しゴム

アルコール依存のフコ

私のアノニマスネームを知っている方も、又、初めて目にする方もいらっしゃると思いますが、まずは、「初めまして」そして「こんにちは」。

「フコ」も、おかげさまで 6 月 1 日をもちまして、どうにかこうにか 6 歳のバースデーを迎えさせていただきました。要するにまだまだです。(恥ずかしながら、本名の方は 57 才です)

飲酒歴は 30 年程になります。精神科入院歴を含め 6 年半ほどのクリーン期間があることになります。それとともに、「ギャンブル依存 (パチンコ?)」・「処方依存」・「女性に対しての変なこだわり」(本能といえば本能かも知れない)・「その他諸々」有り、世界一面倒くさい人間かもしれないと思っている次第です。「双極性気分障害」との付き合いも長く(飲酒歴とほぼリンク) 苦しいです。「依存症者」よりも「精神病患者」として見られたいという変な願望があるからです。なお、間違っただプライドにも酔いしれていて、深層心理では「リスpekt される人間」、あるいは「酒飲み」においても、一番の強者でありたいと思っていたことも否めません。しかし、表面上は「軍師」「参謀」「相談役」的な存在でありたいという事をアピールすることが多いのです。「副…」「サブ…」が良いとかです。大好きな野球に例えれば、バッターなら「2 番か 6 ~ 9 番」、ピッチャーなら「中継ぎ」「敗戦処理」といったところででしょうか。でも、本音は「クリーンアップ」「強打者」・「本格派の先発」「守護神」になって女性からキヤーカー言われたいです。一度でいいから。(違う意味では「キヤーカー」言われそうですが??) 理想と現実と妄想が複雑に絡み合っています。ひきつける魅力さえあれば……。実際、自分がアルコール依存症等であることに気付いたのは施設入寮後であり、全く無縁な他人事だと思っていました。それにより、本当に大切な人や物を失ったのです。生別した妻や子供達、死別した最愛の妻…。数えきれない思い出。後悔の念でいっぱいです。特に、最愛の妻を失ったことで心に大きな傷を負っています。もっと、自らの身を削ってでも守らなければいけなかった。つかの間の快樂に浸っている場合ではなかった。そう思う毎日です。このことは手放す事が出来ず、一生引きずっていくなと思っています。良きにつれ悪しきにつれ。これは施設に入ってから覚えた言葉の自分なりの解釈ですが、究極の共依存関係とは「夫婦」と信じてやみません。友人、職場の同僚、極端に言えば父母兄弟よりも強烈な関係だと考えています。なんか「ネガティブ野郎」の本領発揮の文章になってしまいましたが、前妻の月命日前後に筆を運んでいるということで御理解の程お願いいたします。ただ単に擦り減っている感覚は拭え切れません。

ピンチをチャンスに変える時期・環境になってきたような気がします。つい最近、那須の施設から宇都宮の施設に異動となりチャンスとピンチをいただきました。自分の中で、色々な言い訳や逃げ道を用意したりするという「引き出し」を開けたり閉じたりしているなど感じています。

この状態から抜け出すには、時間と救世主が必要か。でも、「少しは何かの役には立ちたい」とガラにもなく思っています。それがないと、自分のグレードアップ (一番自分にフィットしない言葉) にもつならないことは明々白々であり、モチベーションの維持すら危うくなってしまいうからです。車の運転も出来ないし、パソコンとの闘いにも連戦連敗の日々で、様々なコンプレックスを抱えています。でも、仲間との関わりの中で笑顔やパワーをもらっていることも事実です。今は、放置プレー。良い消耗の仕方をして(無駄な人生と思わずに)、(笑) の文字をふんだんに盛り込んだ文章を書き、楽しめればという気持ちではおります。「擦り減ってナンボか!」と思いつつ

最後に、「安心してください、昔〇〇〇を、ヤッテマシタ。」シリーズは封印します。

変わった私

ミホ

こんにちは。薬物依存症のミホです。ニュースレターを書かせて頂くのは4回目となります。クリーンは3年3ヶ月経ちました。私のクリーンがあるのも施設、仲間のおかげだと思ひ、生活している日々です。今回のニュースレターは前回書いた時から丁度1年が経ちました。「もうそんな経つんだ」ってまじまじと自分の前のニュースレターを読み返しちゃいました。(笑) この1年で大きく変わった事は、自分の気持ちです。前までは何か壁にぶちあたると、すぐに逃げたくて帰ることばかりを考えていたのですが、今は一切それがなくなって、まっすぐ自立の事を前向きに考えられるようになっていきました。やっと気持ちが追いついてきた感じです。逮捕されるまで止まらなかった薬物やアルコール、乱れた生活習慣だった自分、衝動的に帰ると言いつつ何度も施設を出た自分が3年以上も規則正しい生活を送りながらクリーンを続けられていて、気持ちに迷いがなくなったこと、本当に大きな変化だと思っています。今、私は就労プログラムに出れるようになってアルバイトを探している所です。前に1度就労プログラムに出れるようになった時は、自分のプライドや焦り、不安に負けて挫折してしまい、もう一度施設のプログラムをやり直ししたり、再開した時は仕事がすぐ見つかったのですが、継続出来なかったりとか、自分の気持ちの処理が出来なくなって入院したりとか、色々あったけど、この経験がなければ今の自分はいない、と前向きに考えています。特に私は、昔から人と自分を比べてしまう所があり、焦ったり不安になる事が多かったのですが、今は自分のペースでやればいいんだって思える様になり、すごく楽になりました。昔から母に、「人は人、自分は自分」「自分の事大事にできて、自分らしく生きていけばいい」と言われてきた事を思い出しました。ゆっくりでも着実に前に進んでいる。変わっていい、そう信じて今は生活しています。社会に出た時に感じた、働く事の大変さや面接に受かるまでの難しさ、自分の病気、なかなか思い通りにはいかないけど、前向きに取り組んでいこうと思っています。就労だけではなく、施設のプログラムや仲間との時間も大事にしていきたいと思っています。ミーティングで自分の話をする事、改まった場所で体験談を話す事、NAでサービスに関わる事、仲間とのフェロー、どれも自分にとってプラスになる事だから離れないようにしていきたいです。家族との関係も大事にしたいと思っていて毎月必ず手紙のやりとりをしています。今度7月の終わりに家族再構築があります。念願の泊まりです。私の実家はかなり遠いので母が来てくれてこちらで泊まるのですが、すごく楽しみにしています。母は今年還暦を迎えるのですが、丁度再構築が母の誕生日後に予定されています。すごく嬉しいです。母の誕生日に何かお祝いしたいと考えています。今、母や姉は仕事ですごく忙しい日々を過ごしている様なのですが、それでも私の事をすごく応援してくれていて、予定を空けてくれた事にすごく感謝しています。私の変わった所を見てもらうことは、親孝行、姉孝行だと思うのでこれからも変わり続ける姿を見てもらう事が私の役目だと思っています。地元の友達が家族と繋がってくれていて、つい最近私の事で訪ねて来てくれた事を知ってとても感激しました。詳しい内容はまだ入寮中ということもあって、聞かされていませんが今でも心配してくれているという事が伝わってきてすごく嬉しかったです。家族同様、友達とも堂々と会いにいけない様に頑張っていきたいです。これから大変だと思うけど自分が続けていけるような仕事を見つけて自立に向けて頑張っていきたいと思ひます。ニュースレターで私の気持ちを伝えられる機会を与えてもらえた事に感謝しています。最後まで読んで頂きありがとうございました。これからも仲間と共に頑張ります。

6月にステップアップした仲間

那須 TC

・ファミリー Stage1~Stage2へ

那珂川 CF

・モリオ サポート~リーダーへ

宇都宮 OP

・該当者なし

PP

・マユミ、リノ、ニシ Stage1~Stage2へ

6月の献金・献品

(献金) つくばカトリック教会様、匿名者7名様

(献品) つくばカトリック教会様、森トク様、フードバンク宇都宮様、半田久美様、匿名者1名様

とても助かっており、栃木ダルクー同感謝しています。

献品のお願い

- ・2nd Stage Center 開設のため事務用備品、家具、家電(TV、洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、掃除機、ファンヒーター、扇風機)、台所用品、茶碗や陶器類等あればよろしくお願ひします。
- ・修了者の為の原付バイクがあれば頂きたいです。中古、多少壊れていても結構です。
- ・中古パソコン、中古の乗らなくなった自転車等あれば宜しくお願ひします。
- ・トレーニング器具(ダンベル、バーベル等)、その他の器具、あればよろしくお願ひします。

お知らせと一言

・2nd Stage Center も開設から約1ヶ月が経ちなんとかプログラム等も実施できるようになりました。これから人数も増えてくれればよりプログラムも充実していくと思ひます。

梅雨時期ですので、皆様も体調管理に気をつけて下さい。

編集 秋葉

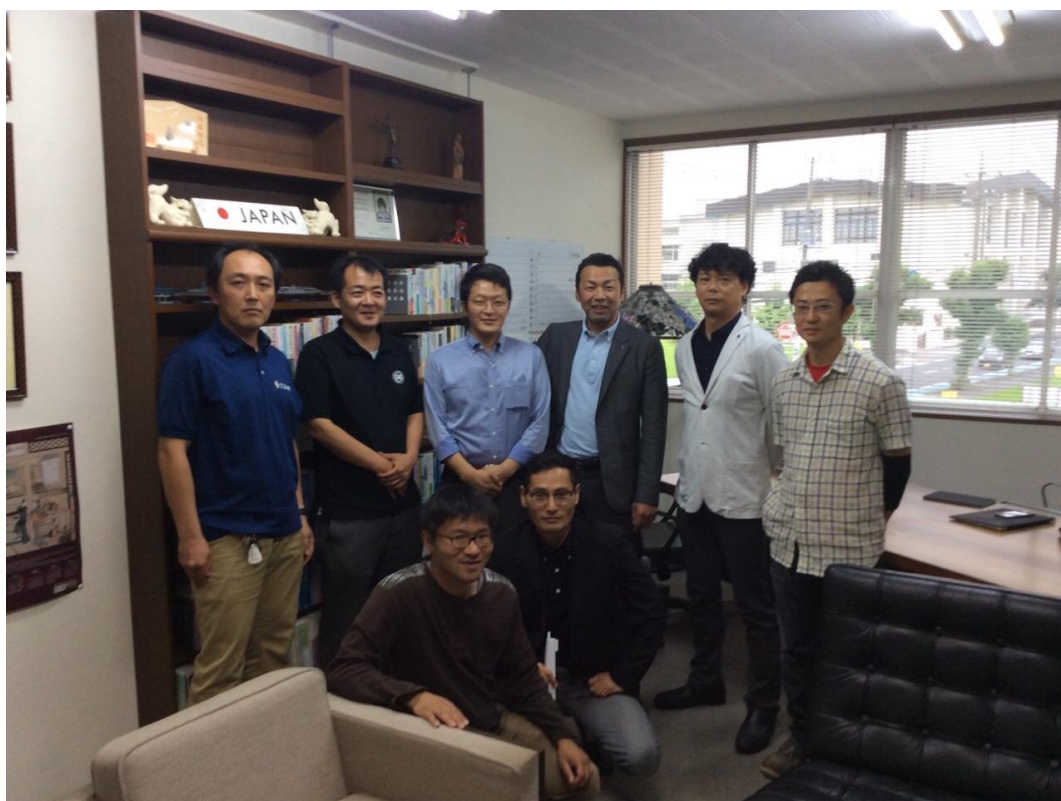
私の人生

依存症のオー

私は昭和32年9月30日にこの世に生を受けました。両親、兄二人、妹一人の六人家族の中で育ちました。まずは私の生い立ちから書かせてもらいます。私が小学校三年でお爺ちゃんの死に直面しました。心筋梗塞でコタツで倒れていたのを今でも覚えています。小さいながらも恐怖感を持ちました。私は小学校の頃、とても思いやりがあり、誰にでも好かれる子供でした。学生時代はとにかくスポーツが得意な好青年だったのです。女子にもモテ、中学校のバレンタインデーにはチョコレートを7個も貰い、父親を驚かせた事を覚えています。その後、家族と苦楽を共にし社会人になり、いくつかの経歴を経て委託会社の営業部に落ち着きました。18歳の時にお酒を覚えました。初めてお酒を口にした時はとても気持ち良く気も大きくなりました。友達も大勢出来て思い出も沢山出来ました。しかし、40歳を過ぎたあたりからお酒の飲み方がエスカレートして行き、同時に賭け事、ゴルフなどに給料をつぎ込み身体も少しずつアルコールに毒されて行きました。病院でアルコール依存症と診断されても大して気にも留めずアルコールに溺れていきました。まずはやる気の無さを訴え、その後、病気は進行し、ついには立つことも動くことも出来なくなりました。そんな中、ある日、胃の痛みを感じ病院で検査をし、胃に穴が空いているのが発見され手術をすることになりました。胃の三分の二を切除しました。自分から会社を辞め、その後、リハビリを続け、身体が言う事を聞くようになると、違う会社で不自由な身体ながら死に物狂いで働きました。ストレスからの再飲酒もあり、再び仕事ができなくなりました。三分の一しか無い胃袋で毎日、酒を飲み続けました。結果、結婚生活数年目で借金が一千万位になり離婚をしました。その後、別の家の婿養子に入ったのですが連続飲酒、問題行動は止まらず、五三歳の一月に再び離婚を経験することとなりました。飲酒の為、三回の入院を経て、那珂川コミュニティーファームに入寮しました。長い年月をかけ性格も崩壊し、信用も社会的地位も失われ、どん底を経験し入寮を決意したのです。ここでの生活を頑張る事を誓ったのですが貧血や、肺気腫、不自由な身体の為、作業にはとても着いて行けませんでした。私は身体が言う事を効かないストレスでいくつかの問題を起こし、ステージダウンするなど辛い思いをしたのです。しかし今は自分の問題を見つめ、生活をしています。そんな中、兄に再会する機会を与えられました。昔、苦勞を共にした家族に再会し、思いを伝える事が出来ました。那珂川コミュニティーファームで作業をしている写真も見せることが出来、兄も、とても喜んでいたと思います。機会があれば那須岳登山の写真も見せてあげたいです。オシャレが大好きで、実家から洋服などを送ってもらうことも出来、とても嬉しかったです。那珂川コミュニティーファームの仲間そして苦勞を共にした実家の家族には本当に感謝をしています。今は目標の日に無事卒業出来る事を願っています。再び学生、社会人時代の様に健康で思いやりがあり、女子にもてる自分に戻れるようになりたいです。依存症と向き合い、回復に責任を持ち、例え目標の日に卒業できなくても、第二の人生が幸せな物になるように、ガムシャラにプログラムに励もう

と思います。ダルクでの厳しい規律と不自由な身体での農作業のストレスはありますが、酒に溺れていた苦しい日々を思い出し、依存症からの回復を信じ、一人で暮す事が出来る事を祈っています。そして昔のようにシラフで気楽に話や遊びに行くことが出来るようになる事を信じたいと思います。最後に大好きな家族へ。一日も早く普通に会える事が出来るよう、死んだつもりで回復に向けてのプログラムを頑張る事を決意しました。しばしの別れですがお体に気をつけて。

相模原ダルクから研修に来ていたカズが1年間の研修を終えて7月に相模原に帰ります。研修お疲れ様でした。



施設報告

1sc（導入）17名 2sc（回復）2名 3sc（後期・社会復帰）16名 Ncf（農業）11名 ppピースフルプレイス（女性）9名計55名で活動しております。各々の施設でステージ事のプログラムを実施しております。

お礼

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。
日頃は栃木 DARC ピースフル・プレイスの活動にご理解をいただき、厚く御礼申し上げます。

このたび、ピースフル・プレイス施設建物改装工事費用の寄付のお願いをさせていただきましたが、さっそく多くのお気持ちが寄せられました。大型の寄付として支援をいただいた方もおり、当施設を支援してくださる方々から寄せられたご寄付は、725,000円となりました。

寄せられたご寄付は、ピースフル・プレイスでプログラムに取り組む利用者たちが、より安全な環境の中で生活を送ることができるよう、7月より着工する工事費用として活用をさせていただきます。

なお、引き続き寄付のお願いをさせていただいております。ご協力賜りますようお願い申し上げます。寄付につきましては、専用の払込取扱票を同封させていただきます。

多くみなさまのあたたかいご支援に、心より感謝申し上げます。

特定非営利活動法人 栃木 DARC

ピースフル・プレイス 施設長 栃原 夕子

御見積書

品名	数量	単位	単価	金額
大工工事一式	1	1式	413,260	413,260
クロス工事一式	1	1式	136,000	136,000
空調工事一式	1	1式	36,000	36,000
電気工事一式	1	1式	104,420	104,420
左官工事一式	1	1式	60,000	60,000
解体/処分費	1	1式	12,000	12,000
諸経費	1	1式	65,700	65,700
値引き	1	1式	1,380	1,380
合計				826,000
消費税(8%)				66,080
税込み合計				892,080

薬物依存者家族会のご案内

NPO法人 アディクションサポートセンターとちぎ

世話人 井澤、渡辺（伸）、中田（昌）、山口（啓）

連絡先 （井澤）080-5883-5427<家族会の電話を兼ねる>

城山地区市民センター 028-652-0621<窓口>

028-652-4794<まちづくり>

家族に薬物依存者を抱え「なやみ」「くるしみ」を一人ではどうにもならなくなった家族の回復を目的として、健全な社会生活が出来るようケアする、あなた自身の回復と成長のために家族会のミーティングに参加しませんか。

2016年 家族会のスケジュール <※ 日程の確認をよろしく願います>

	日程	場所	内容
第百五十七回	4月24日 (日)	城山地区 市民センター 学習室4、和 室1・2、集会 室	10:00~14:00 合同ミーティング・定期総会 但し10:30~12:00 体験談（ピースフルプレイスメンバー）
第百五十八回	5月29日 (日)	城山地区 市民センター 学習室4、和室 1・2、集会 室	10:00~15:30 グループ・合同ミーティング 但し10:30~12:00 栃木県保健福祉部薬務課 川島敏武氏による講演
第百五十九回	6月26日 (日)	城山地区 市民センター 学習室4、和 室1・2、集会 室	10:00~15:30 グループ・合同ミーティング 但し10:30~12:00 体験談（那須TC・那珂川CF・宇都宮OP）
第百六十回	7月31日 (日)	宇都宮OP ・宇都宮市大曾2 -2-14 ・028-650 -5582	10:00~15:30 グループ・合同ミーティング 但し10:30~12:00 マロニエ医療福祉専門学校 作業療法学科長 渡邊厚司氏による講演
第百六十一回	8月28日 (日)	宇都宮OP ・宇都宮市大曾2 -2-14 ・028-650 -5582	10:00~15:30 グループ・合同ミーティング 但し10:30~12:00 栃木ダルク代表 栗坪千明氏による講演
第百六十二回	9月25日 (日)	那珂川CF 星ブドウ園	11:00~13:00 栃木ダルクメンバーと家族会による交流会 【問合せ先】 住所 那珂川町谷田846-3 電話 0287-96-3076